



Newspaper in Education



ルダシングワ夫妻（左の2人）から義足が必要な理由などを聴く児童—熱海市立第一小

### 熱海第一小で国際理解講座 義肢提供活動も

## ルワンダの現状学ぶ

熱海市の熱海国際交流協会は27日、児童向け国際理解講座を市立第一小で開いた。学童保育「エンジェルクラブ」の1〜3年生を中心に約70人が参加し、民族紛争が長年続いたアフリカ・ルワンダ共和国の現状を学んだ。紛争や病気で手足を失ったルワンダ人らに義肢を無償提供する活動を15年間続けるNGO「ムリンディ・ジャン・ワンラブ・プロ

熱海市の熱海国際交流協会は27日、児童向け国際理解講座を市立第一小で開いた。学童保育「エンジェルクラブ」の1〜3年生を中心に約70人が参加し、民族紛争が長年続いたアフリカ・ルワンダ共和国の現状を学んだ。紛争や病気で手足を失ったルワンダ人らに義肢を無償提供する活動を15年間続けるNGO「ムリンディ・ジャン・ワンラブ・プロ

ジェクト」のガテラ・ルダシングワさん、ルダシングワ・真美さん夫妻が講師を務めた。夫妻は密猟や環境問題について伝えただけでなく、生まれて間もなく病気となって足を無くした子供の写真なども紹介。日本からの寄付が現地での活動の大きな支えになっていることを強調した。

紛争で難民となり、自身も義足のガテラさんは「アフリカには足がない人が大勢いる。世界で起きている問題を勉強し、困っている人を助ける仕事に就いてほしい」と期待した。

2013年11月28日朝刊 東部版

- ① ルワンダ共和国があるのは何大陸ですか。地図帳や地球儀で場所を探してみましょう。

[ ]大陸

- ② 「アフリカには足のない人がたくさんいる」とあります。記事から理由を二つ書きましょう。

[ ]  
[ ]

- ③ ルワンダの伝統工芸の籠「アガセチェ」は、だれが、どんな時に作りますか。

[ ]

- ④ この二つの記事を読んで感じたルワンダの印象を話し合ひましょう。

年 組 名前

2013年7月2日朝刊 中部版

(小学校高学年、中学生 社会、総合)

### 清流

#### 生産者と正しくつながる

ルワンダの伝統工芸の籠「アガセチェ」。結婚が決まった娘に母親が編み方を教え、嫁ぎ先に持っていくという幸せの象徴。鮮やかな色調と麻の風合いが気に入る。入り、玄関に飾っている。生産者の女性2人が横浜で開かれたアフリカンフェアのため来日した。フェアアトレードで籠を卸販売する静岡市の企業のアースで実演する2人。適切な対価

と安定した取り引きで「子どもの学費が払えるようになった」と笑った。籠作りは内戦の傷を癒やし、誇りも与えていた。フェアトレードとは、消費者と生産者が正しくつながること。国際協力というと大げさだが、いつもの買い物で少しずつでもフェアトレード商品を選んでいくことなのである(経済部・佐野七緒)